



自他を大切にすること

6月4日(火)に2年生が「命の教育」という学習を行いました。これは、消防署が主催するもので、今回は地震や土砂災害からどのようにして身を守るかというお話をしていただきました。「命の教育」では、土嚢作り体験や救命救急法の講習なども行われており、学校や学年の実態に応じて実施されています。



2年生の子どもたちは、学校の活動の中で「防災」についてふれるのは、避難訓練しかありません。今回の松山中央消防署城北支署の方のお話を聞いて、地震や土砂災害の危険性や災害からの身の守り方について関心を高めることができました。城北支署の皆様、ご協力、ありがとうございました。

【2年生の感想】

- 雷とか台風とか地震とか、危険なことをいろいろ教えてくれてありがとうございました。おかげで、危険なことがたくさんあることが分かりました。世界の地震の20%が日本で起きていることも分かりました。火災とかゲリラ豪雨とか地震とか、危険なことがあるので、今後、お出かけしたときに気を付けておきます。
- 私は、これから地震災害に気を付けます。私の家は少し高いところにあるので、土砂崩れが起きやすいので気を付けます。地震災害も危険だと思いました。地震災害に気を付けて、安全に過ごしたいと思います。

6月3日(月)に4年生が点字体験を、6月6日(木)には、ガイドヘルプ体験を行いました。総合的な学習の時間「しおみのやさしさたんけん隊」という単元で、障がいのある人の疑似体験や



障がいのある人への支援の在り方を調べるなどを通して、自分にどんなことができるのかを考える学習をしています。点字の打ち方を知ることで、その大変さとともに重要性を感じるようになりました。ガイドヘルプをすることで、目の不自由な方への接し方だけでなく、コミュニケーションの在り方そのものを振り返るきっかけになりました。お世話をしてくださった、愛媛県社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。



今年度の潮見小学校の教育目標は、「夢をもち自他を大切にしながら学び合う子どもの育成」としています。命の教育では自分の命は自分で守ることを学び、体験活動では、障がいのある方へ思いやりをもって対応することを学びました。これからも、自分も、自分以外の人も大切に育てていきたいと思っています。